

令和5年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 71
ID 202502

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園、茶臼山公園(植物園口駐車場)									
指定管理者名	一般財団法人ながの緑育協会						法人番号	9100005011552		
所管課	主	202500	公園緑地課	副						
構成施設	2836	篠ノ井中央公園								
	5644	茶臼山自然植物園								
	2840	茶臼山公園(植物園口駐車場)								
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	・篠ノ井中央公園(管理棟、トイレ棟、遊具等) ・茶臼山自然植物園(上部)(管理棟、四阿、トイレ棟、遊具等) ・茶臼山公園(植物園口駐車場)									
施設設置目的	市民の憩いの場及び交流の拠点として設置。また、長野市緑を豊かにする計画(平成31年4月改定)により、篠ノ井中央公園は本市の「緑育の拠点」、茶臼山自然植物園(上部)は「緑育実践の場」として位置づけている。									
基本方針等	緑育を通じて長野の美しい自然を守り、緑を大切にする文化や人を育て、人と人をつなげられるように、当該公園が緑育の拠点及び緑育の実践の場として相応しい適切な維持管理を行う。 あわせて指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、市民が足を運びたいと考える施設となり、利用者が世代を越えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。									
主な実施事業	管理棟、トイレ棟、遊具、四阿、駐車場、施設及び設備の維持管理に関する業務及び市が必要と認める業務									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		一般財団法人ながの緑育協会			当該指定管理者の 指定回数		2回				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日			5年		当該指定管理者の 管理運営開始日		平成28年4月1日		
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。									評価	
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)									3	

2 施設の有効活用

No. 71

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
	篠ノ井中央公園	人	52,197	59,034	58,645	58,024	99%	
	茶臼山自然植物園	人	24,592	24,281	22,047	21,418	97%	
(特記事項) 梅雨及び夏季(6月～10月)は猛暑のため両施設ともに、前年度の利用者を下回った。年間を通して前年度と比較すると、篠ノ井中央公園では621人、茶臼山自然植物園では629人の減少であった。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・植栽の管理に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・自動販売機の設置、販売 ・その他市が必要とする業務(ボランティア登録者の緑化活動、コミュニティガーデン事業の推進、公園施設を利用した講習会等、ボランティア養成講座(全12回))						
	自主事業	・市民への緑化意識の啓発と緑の普及のためのイベント、展示会の開催。 花苗交換会(年間2回) 春の山野草展(2日間) 彩と香の富貴蘭展(2日間) 秋の山野草展(2日間) 春蘭「柄物」展示会(1日間) クリスマスローズ展2023(3日間) 春蘭展(2日間) ・花と緑に関する知識や技術を深めるための各種講習会、園芸教室の開催(14講座) ・花と緑に関する様々な相談に答える相談所の開設 花と緑の相談所(年5回、計6名の相談者参加) 電話、メール等での随時相談には、都度回答 ・「長野市緑と花いっぱいの会」と連携し、地域緑化団体への花苗育苗事業の支援						
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・花と緑の情報発信として、花と緑のイベント情報発行(2023.4月号～2024.3月号)、掲示板への情報掲示(開花情報、茶臼山自然植物園利用情報等)、パンフレット、ホームページ、ブログの更新(緑育イベント情報、施設利用情報等の更新、ブログ投稿、篠ノ井中央公園パンフレット更新)、広報ながのへのイベント情報掲載、メールマガジンの配信、インスタグラムの活用(施設利用情報、イベント情報、活動の様子や花壇の様子等) ・テレビ・ラジオなどマスメディアの活用として、ラジオ出演4回、テレビ収録3回						

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容 ・HPアンケートフォーム(QRコードチラシによるアンケートへの誘導) ・アンケート用紙 ・SNSメッセージ対応 ・来園者声かけ ・電話対応 ・窓口対応などによる日常的な要望把握		
		(3) 調査、会議等の結果 講習会、園芸教室参加者へのアンケート内容 ・講座を受けた感想や意見(内容、講師、スタッフについてなど、改善点、意見)、今後開催してほしい講習会やイベント ・講習会、園芸教室参加者(43講座)にアンケートを配布し、864人のうち761人から回答を得た。回収率は88% ・講習会の満足度 満足…76.8%、ほぼ満足…17.0%、どちらともいえない0.5%、未記入5.7%、やや不満0%、不満0%		
	利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価 (日常的な評価) ・いつもきれいにしてもらってありがとう、お花がきれいで楽しみ (講習会、園芸教室参加者からの評価) ・ちょっとしたコツも聞けて、とても参考になりました。 ・分からない時、細やかに見ていただいて助かりました。 ・料金はちょうど良い ・スタッフさんが丁寧に対応してくださり、対応が早く作業がしやすい (2) 苦情・改善等の要望事項 (日常的な評価) ・犬の散歩マナーが悪い人がいる ・注意看板だらけで景観が悪い ・日当たりが悪いので木を剪定してほしい ・凍結で滑りやすい箇所がある等 《対応措置》 ・現場判断で対応できるものは迅速に対応、その他のものは当課への報告を受け、指示を出した		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算			令和4年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料			使用料	
		指定管理料	47,460,000	指定管理料	47,460,000		雑(納付金)			雑(納付金)	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料			行政財産目的外使用料	
		販売収入等		販売収入等			貸付料			貸付料	
	その他収入	2,253,000	その他収入	2,176,814	その他		その他				
	計	49,713,000	計	49,636,814	計	0	計	0			
	支出	人件費	20,569,000	人件費	21,976,637	歳出	指定管理料	47,460,000		指定管理料	47,460,000
設備管理費		12,578,000	設備管理費	12,795,418	委託料			委託料			
備品購入費			備品購入費		需用費			需用費			
修繕費		320,000	修繕費	250,845	役務費			役務費			
光熱水費		2,262,000	光熱水費	1,914,383	使用料・賃借料			使用料・賃借料			
事業費		3,623,500	事業費	3,306,561	修繕費			修繕費			
事務経費		6,713,500	事務経費	6,764,585	工事請負費			工事請負費			
本社経費		3,370,000	本社経費	3,261,654	備品購入費			備品購入費			
その他		277,000	その他	265,310	その他			その他			
計	49,713,000	計	50,535,393	計	47,460,000	計	47,460,000				
自主事業	収入	520,000	収入	382,000							
	支出	240,000	支出	289,231							
	自主事業損益	280,000	自主事業損益	92,769							
損益	280,000		-805,810		差引	-47,460,000		-47,460,000			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									43.5%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				植栽管理を外部委託から直営に切り替える転換期を迎える中での人件費増							

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容		チェック欄	評価
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	正規職員2人(2人)、臨時職員3人(3人)、パート職員6人(6人) 計11人(11人):事務局長1人(パート)、施設長1人(臨時)、総務担当1人(臨時)、緑育・植栽担当3人(正規2人、パート1人)、管理担当5人(臨時1人、パート4人)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		☒		
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか				
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

6 危機管理体制

※ すべて [] で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

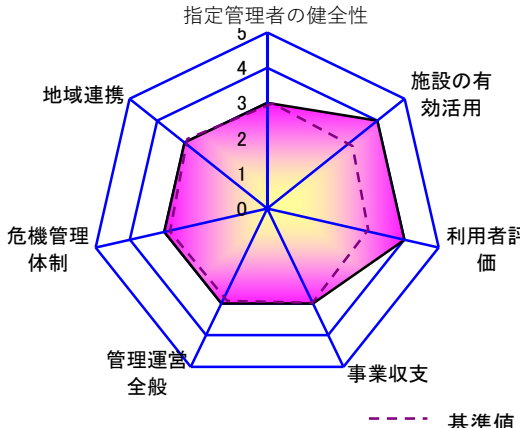
No. 71

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	3
	・篠ノ井オレンジロードの植栽作業に参加 ・公民館等主催の園芸教室などへの講師派遣依頼への対応 ・通明小学校創立150周年記念植栽イベントへの植栽指導 ・通明小学校4年生 樹木の授業 ・市内の就労継続支援A型事業所へ公園環境整備業務を発注		

【総合評価】

総合評価			
評価項目	評価	得点	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	68
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
			
評価理由	・令和5年度においても公園緑地の管理とともに、発足10周年を迎えた緑育ボランティアの活動をはじめ、講習会等の開催及び、施設の資源を活用した効率的な取り組みの成果が見られたことから「施設の有効活用」と「4」とした。 ・令和5年度から茶臼山自然植物園の管理体制について、常時1人体制という緊急時リスクを改善するため、平日2人体制に変更し、植栽管理を外部委託から直営に切り替える取り組みが見られた。 ・公園利用者からの日常的な改善要望では、現場判断で対応できるものは迅速な対応に努めている。また、講習会、園芸教室参加者のアンケートからは、満足度の高さが伺え、講師及びながの緑育協会職員の対応に感謝の言葉がみられた事を考慮し、「利用者評価」を「4」とした。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	篠ノ井中央公園の高木類の適正な管理の継続、更なる緑陰の創出を図る。	・篠ノ井中央公園の継続的な高木類樹勢回復措置の結果は順調である ・植栽管理を外部委託から直営への切り替えに取り組んでいる	引き続き、篠ノ井中央公園の高木類の適正な管理を継続し、更なる緑陰の創出を図る。
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・緑育推進事業をSDGsやグリーンインフラと紐づけ、社会に貢献する事業として取り組む ・活動や取組みを多方面に発信することで、積極的なPRを図る ・事務負担軽減や、電帳法への移行などの観点から、ペーパーレス化に取り組む		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・犬のしつけ方教室の会場として篠ノ井中央公園を初めて活用した。犬の散歩マナー向上の呼びかけも同時に実施し、公園利用者サービス向上に努めた。
- ・花や緑を身近に感じていただけるよう、緑のカーテンを設置した。「ながの花と緑大賞2023緑のカーテンの部」に応募し、アイデア賞を受賞した。
- ・花と緑の年間講座12回、ボランティア活動29回、講習会23回など、市民が花と緑に関わる機会を多く提供した。
- ・施設利用情報やイベント情報などを積極的に発信している。インスタグラムのフォロワー数679、昨年度より131増加した。
- ・幼稚園や小学校遠足の受け入れを、バス駐車スペースの確保なども併せて実施した。(21件)

② 業務の効率化に対する取組み

- ・植栽管理では、あらかじめ発芽抑制剤を散布し、雑草を種から発芽させない予防的雑草対策を行っている。特に除草の手間がかかる舗装の隙間などを重点的に対策することで、大幅な除草の手間を減らし、効率化を図っている。
- ・各種説明会や研修会に参加し、業務に必要な知識や技術の向上に努めた。
- ・ボランティア活動による園内花壇の管理を行い、マンパワーによる作業効率向上と、花と緑に触れ合う機会の提供を両立させている。

③ その他

- ・令和5年4月28日付で、長野県SDGs推進企業に登録された。
- ・ボランティア組織「緑育倶楽部」の登録人数は226人(令和6年3月31日時点)。長野市の緑育を担う人材が多く活動している。
- ・「緑育倶楽部」は発足10周年を迎え、活動の継続がひとつの成果として表れてきた。
- ・通明小学校で植栽指導や樹木の授業を行い、花と緑に関する地域とのつながりを強化した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・人件費増によるマイナス決算のため、安定的な財政状況となるよう各種調整が課題である。
- ・SDGsに取り組む中で、枝葉ごみ・草ごみの処分量、処分費減が課題である。講習会材料として再利用を進めているが、その他の活用方法を研究していく。
- ・特色ある緑育の取り組みを、PRする広報・宣伝活動。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・事業内容については、継続的かつ内容を充実させた事業実施による市民への花と緑に関わる機会を多く提供し、満足度を高く維持している点を評価する。
- ・ボランティア組織「緑育倶楽部」が発足10周年を迎えたこともあり、継続的に「緑育」に取り組んできた成果が表れている点を評価する。
- ・人件費増によるマイナス決算とはなったが、植栽管理業務を委託から直営に転換させる運営の変革に取り組んでいる点を評価する。
- ・長野県SDGs推進企業に登録され、様々な社会問題解決に取り組んでいる点を評価する。
- ・植栽管理では、他の公園では見られない多種多様な植物を取り入れ、公園利用者の目を楽しませることに加え、花と緑に関わる機会を提供している点を評価する。
- ・日常的な園芸相談や、植物に関するメディア対応を行っている。長野市の花と緑に関する窓口としての機能を発揮できている点を評価する。

② 次年度以降の取組み

- ・緑育倶楽部やその他緑育の取り組みを積極的にPRすること。
- ・緑育の取り組みが社会に貢献する事業として発展できる可能性を研究すること。
- ・ペーパーレス化や草ごみ処分費減など、環境にやさしい取り組みを研究すること。